

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-121172(P2003-121172A)

【公開日】平成15年4月23日(2003.4.23)

【出願番号】特願2001-315021(P2001-315021)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 C 21/00

G 0 8 G 1/0969

G 0 9 B 29/00

G 0 9 B 29/10

【F I】

G 0 1 C 21/00 C

G 0 8 G 1/0969

G 0 9 B 29/00 A

G 0 9 B 29/00 F

G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月6日(2004.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動体の位置を地図上に表示する地図表示方法であって、  
 移動体の位置を検出するステップ、  
 該ステップによって検出した移動体の位置を、検出した時刻とともに記録するステップ、  
 移動体外部から気象情報を取得して記録するステップ、  
 該ステップによって取得した気象情報から、前記移動体の位置の検出時刻に対応する気象情報を抽出して、該当する移動体の検出位置とともに地図上に重ねて表示するステップ、  
 を含むことを特徴とする地図表示方法。

【請求項2】

移動体に搭載されており、表示手段に地図を表示する地図表示装置であって、  
 移動体の位置を検出する位置検出手段、  
 該位置検出手段によって検出した移動体の位置を、検出した時刻とともに記憶手段に記録する移動履歴記録手段、  
 移動体外部から気象情報を取得し、前記記憶手段に記録する気象情報取得手段、  
 前記記憶手段に記録された任意の移動体位置とともに、該位置を検出した時刻の気象情報を前記記憶手段から抽出し、前記地図上に重ねて表示する表示制御手段、を備えたことを特徴とする地図表示装置。

【請求項3】

前記表示制御手段は、前記移動体位置と該移動体位置を検出した時刻の気象情報を、時刻の古い順に連続的に表示することを特徴とする請求項2記載の地図表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

このように、本実施形態によれば、車両10の目的地までの経路上の任意の地点へ到達する時刻を推定し、該到達推定時刻の気象予測情報を該任意の地点とともに表示することとしたので、利用者は予定する経路において、車両10の推定位置と気象情報の相対関係を把握することができる。そのため、例えば、雨などの好ましくない気象状況を避けるなど、走行の予定を調整するための参考情報を得ることができる。つまり、将来の移動体の位置と気象の移り変わりの予報を地図上に重ねて表示することとしたので、両者の相対的な動きを視覚的に把握することができ、気象状況を予測した移動が可能となる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、次のような効果がある。

(1) 移動体の位置と気象情報を地図上に重ねて表示することとしたので、気象状況を考慮した移動が可能となる。

(2) 過去の移動体の位置と気象の移り変わりを地図上に重ねて表示することとしたので、両者の相対的な動きを視覚的に把握することができる。